



企業経営動向調査による景況感の現状および見通しについて (2020年3月実施)

百十四銀行（頭取 綾田 裕次郎）は、香川県内民間企業の景況感に関するアンケート調査を実施し、その結果をまとめましたのでお知らせします。

【調査要領】

調査対象	香川県内に本社または主工場をもつ企業：441社
調査方法	郵送及びWebによるアンケート方式
調査時期	2020年3月4日～2020年3月31日
回答状況	有効回答企業数：266社 有効回答率：60.3%

調査委託先 一般財団法人 百十四経済研究所

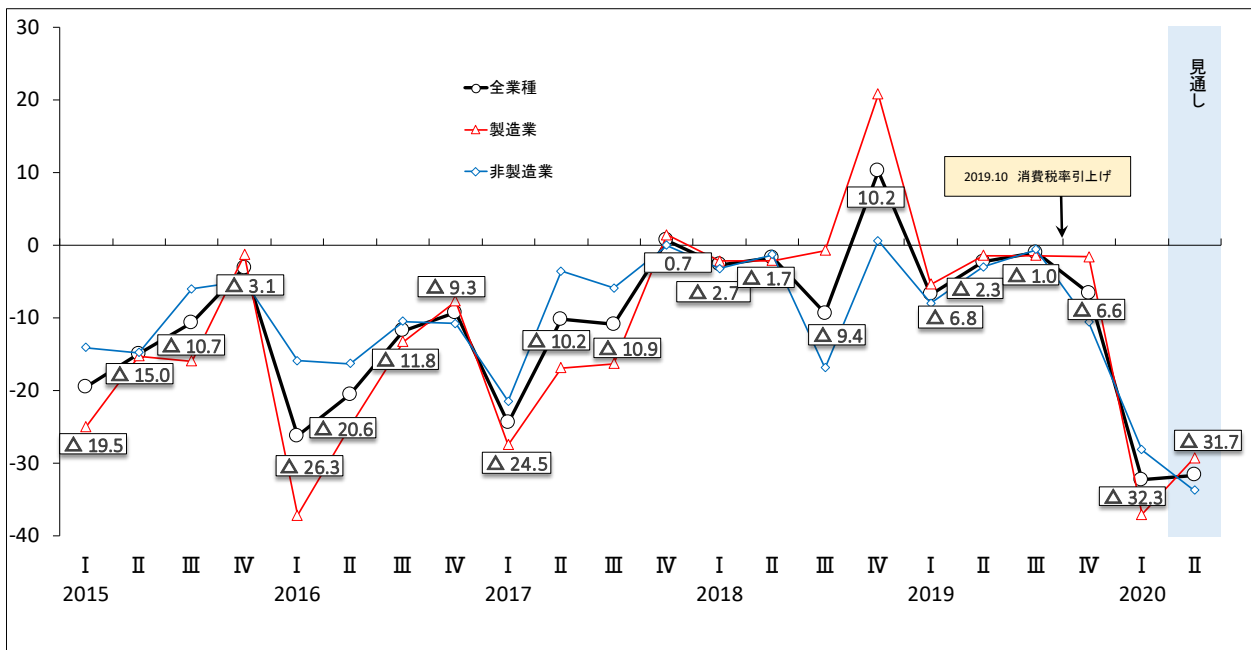
香川県内企業経営動向調査による景況感の現状および見通しについて (2020年3月実施) ～景況感は大きく悪化～

1. 全体の概況

今期（2020年1～3月期）県内企業の業況判断BSI（全業種）は、前期の△6.6から25.7ポイント低下し△32.3となった。製造業は、前期の△1.6から35.5ポイント低下し△37.1となった。非製造業は、前期の△10.6から17.6ポイント低下し△28.2となった。

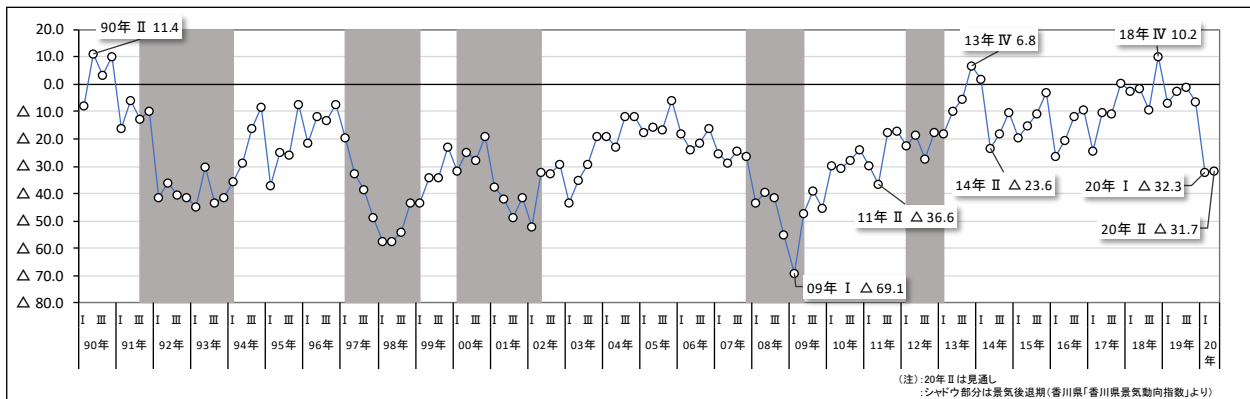
来期BSI（全業種）は、今期の△32.3から0.6ポイント上昇し△31.7となる見通し。製造業は、今期比7.8ポイント上昇し△29.3となる一方、非製造業は、今期比5.6ポイント低下し△33.8となる見通し。

業況判断BSI（全業種・製造業・非製造業）



業種	実績												見通し	
	2017 I	II	III	IV	2018 I	II	III	IV	2019 I	II	III	IV		2020 I
全業種	△24.5	△10.2	△10.9	0.7	△2.7	△1.7	△9.4	10.2	△6.8	△2.3	△1.0	△6.6	△32.3	△31.7
製造業	△27.5	△16.9	△16.3	1.4	△2.2	△2.1	△0.7	20.8	△5.4	△1.4	△1.4	△1.6	△37.1	△29.3
非製造業	△21.5	△3.6	△5.9	0.0	△3.2	△1.3	△16.9	0.6	△8.0	△3.0	△0.6	△10.6	△28.2	△33.8

業況判断BSI 長期推移



2. 業況判断 BSI

(1) 今期 (2020 年 1~3 月期) 実績

今期 BSI は、新型コロナウイルス感染症の影響により、前期の△6.6 から 25.7 ポイントと大きく低下し△32.3 となった。

業種別でみると、製造業は前期の△1.6 から 35.5 ポイント低下し△37.1 となった。その内訳をみると、基礎素材型は、パルプ・紙・紙加工品製造業や金属製品製造業が悪化し前期比 29.4 ポイント低下。加工組立型は、業務用機械器具製造業や生産用機械器具製造業が改善し前期比 0.6 ポイント上昇。生活関連型は、食料品製造業や繊維工業などが大きく悪化したことから前期比 65.8 ポイント低下した。

非製造業は、前期の△10.6 から 17.6 ポイント低下し△28.2 となった。その内訳をみると、建設業は、前期比 5.0 ポイントの減少。卸売・小売業は、資材関連や機械器具卸売業などが好転し前期比 14.2 ポイント上昇。運輸業は、鉄道業、道路貨物運送業、道路旅客運送業などすべての業種が悪化したことから前期比 56.3 ポイント低下。サービス業等は、宿泊関連やリゾート関連、飲食店が悪化したことから前期比 36.2 ポイント低下した。

(2) 来期 (2020 年 4~6 月期) 見通し

来期 BSI は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による先行き不透明感を背景に今期の△32.3 から 0.6 ポイント上昇し△31.7 となる見通し。

業種別でみると、製造業は、今期の△37.1 から 7.8 ポイント上昇し△29.3 となる見通し。その内訳をみると、基礎素材型は、引き続きパルプ・紙・紙加工品製造業や金属製品製造業などが悪化を見込み今期比 2.6 ポイント低下。加工組立型は、はん用機械器具製造業や生産用機械器具製造業が悪化を見込み今期比 24.2 ポイント低下。生活関連型は、食料品製造業などが好転を見込み今期比 35.5 ポイント上昇する見通しである。

非製造業は、今期の△28.2 から 5.6 ポイント低下し△33.8 となる見通し。その内訳をみると、建設業は、売り上げの減少を見込み今期比 42.9 ポイント低下。卸売・小売業は、食料品卸売・小売業などが悪化を見込み今期比 13.3 ポイント低下。運輸業は、引き続き悪化を見込み今期比 7.1 ポイント低下。サービス業等は、リゾート関連などが好転を見込み今期比 13.2 ポイント上昇する見通しである。

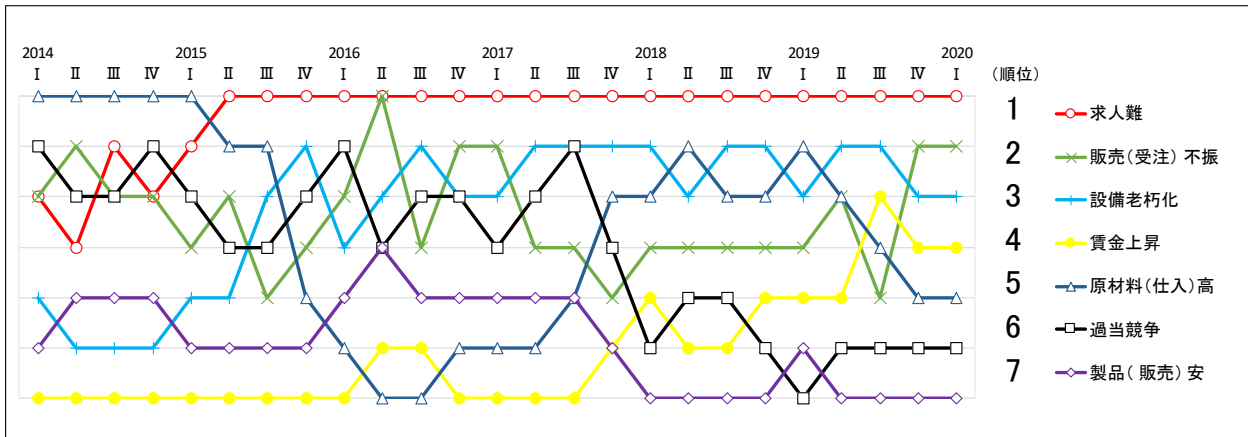
業種別業況判断 BSI

業 種	実 績												見通し	
	2017 I	II	III	IV	2018 I	II	III	IV	2019 I	II	III	IV	2020 I	II
全業種	△ 24.5	△ 10.2	△ 10.9	0.7	△ 2.7	△ 1.7	△ 9.4	10.2	△ 6.8	△ 2.3	△ 1.0	△ 6.6	△ 32.3	△ 31.7
製造業	△ 27.5	△ 16.9	△ 16.3	1.4	△ 2.2	△ 2.1	△ 0.7	20.8	△ 5.4	△ 1.4	△ 1.4	△ 1.6	△ 37.1	△ 29.3
基礎素材型	0.0	3.7	0.0	△ 12.0	△ 4.5	△ 8.5	6.5	20.8	△ 7.7	△ 5.8	△ 18.4	△ 4.8	△ 34.2	△ 36.8
加工組立型	△ 16.7	△ 5.6	△ 10.5	5.6	9.1	10.5	9.5	22.7	14.3	△ 2.4	9.1	△ 15.8	△ 15.2	△ 39.4
生活関連型	△ 51.4	△ 36.8	△ 31.4	10.0	△ 6.6	△ 5.5	△ 14.8	19.2	△ 18.5	4.1	6.4	13.0	△ 52.8	△ 17.3
非製造業	△ 21.5	△ 3.6	△ 5.9	0.0	△ 3.2	△ 1.3	△ 16.9	0.6	△ 8.0	△ 3.0	△ 0.6	△ 10.6	△ 28.2	△ 33.8
建設業	6.3	△ 6.7	△ 6.3	6.3	8.3	0.0	△ 10.0	10.0	16.7	△ 9.1	4.2	5.0	0.0	△ 42.9
卸売・小売業	△ 24.3	0.0	2.5	5.6	4.7	2.1	△ 9.8	8.2	△ 18.0	0.0	0.0	△ 32.0	△ 17.8	△ 31.1
運輸業	△ 50.0	△ 22.2	△ 33.3	△ 37.5	0.0	△ 9.5	△ 41.2	12.5	△ 6.3	△ 12.5	29.4	6.3	△ 50.0	△ 57.1
サービス業等	△ 27.8	0.0	△ 10.0	0.0	△ 12.3	△ 1.4	△ 17.9	△ 9.3	△ 9.7	△ 1.3	△ 10.0	△ 4.1	△ 40.3	△ 27.1

3. 経営上の問題点

経営上の問題点を複数回答で尋ねたところ、「求人難」が最も多く、続いて「販売（受注）不振」、「設備老朽化」、となっている。「求人難」は20期連続で1位となった。

経営上の問題点 順位の推移（上位7項目）



【業種別回答数及び構成比】

業種	回答社数	構成比
全業種	266	100.0%
製造業	124	46.6%
基礎素材型	38	14.3%
加工組立型	33	12.4%
生活関連型	53	19.9%
非製造業	142	53.4%
建設業	21	7.9%
卸売, 小売業	45	16.9%
運輸業	14	5.3%
サービス業等	62	23.3%

【企業経営動向調査概要】

- ① 調査時期：2020年3月4日～2020年3月31日
(毎年3・6・9・12月実施)
- ② 調査事項：業況、受注高、生産高、売上高、在庫高、資金繰り、銀行借入、設備投資、雇用、採算の各項目別BSI、設備投資目的、採算の好転・悪化要因、経営上の問題点
- ③ 調査方法：郵送及びWebによるアンケート方式
- ④ 調査対象：県内に本社または主工場を持つ主要企業441社
- ⑤ 有効回答率：60.3% (有効回答数266社)

【7業種区分】

製造業	
基礎素材型	木材・木製品製造業(家具を除く)、パルプ・紙・紙加工品製造業、化学工業、石油製品・石炭製品製造業、プラスチック製品製造業、ゴム製品製造業、窯業・土石製品製造業、鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業
加工組立型	はん用機械器具製造業、生産用機械器具製造業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、輸送用機械器具製造業
生活関連型	食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、家具・装備品製造業、印刷・同関連業、なめし革・同製品・毛皮製造業、その他製造業
非製造業	
建設業	総合工事業、識別工事業、設備工事業
卸売・小売業	飲食料品、一般商品、繊維・衣料品等、建築資材、金属材料、機械器具等の卸売・小売り
運輸業	陸運、海運、空運、倉庫業、荷役業ほか
サービス業等	情報通信業、不動産業・物品賃貸業、宿泊業・飲食サービス業、生活関連サービス業・娯楽業、教育・学習支援業、医療・福祉、機械整備ほか